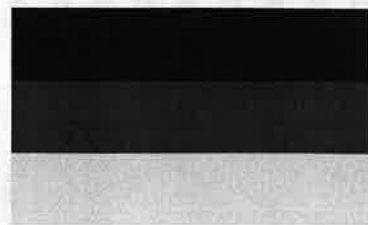


たぶんかびと塾



「ドイツの移民・難民向け統合コース」に学ぶ ～現地を見学して～

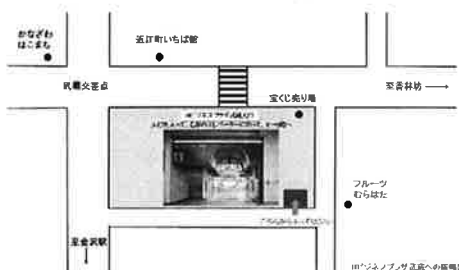
2018年12月に成立した改正入管法が4月に施行されることとなり、今後5年間で最大で34万人の外国人の人たちが日本で働くことが予定されています。

ここで大切なことは、彼らは単に労働力を提供する存在だけでなく、生活者として私たちとともに暮らしていく隣人だということです。地域の中でどう受け入れていくのかは、私たち一人ひとりが考える必要があります。

今回は、1960年代から労働力不足により、移民の受け入れを行ってきたドイツの制度「移民・難民向け統合コース」を今年1月に現地で見学してきた方をお招きし、お話をお聞きます。ぜひご参加ください。

*ドイツの移民・難民向け統合コースとは…
ドイツでの滞在許可を取得した外国人に受講が義務付けられるもので、ドイツ語、ドイツの文化、法、歴史を学び、修了試験が課せられる。

- [報告者] **志村 恵さん**
(金沢大学人間社会学域国際学類教員・NPO法人多文化協働ネットワーク理事)
- [日時] **2019年2月23日(土)**
15:00~16:30
- [会場] **ITビジネスプラザ武蔵 5階研修室2**
(金沢市武蔵町14番31号)
- [参加費] **一般1,000円 会員・学生500円**
(当日入会可)
- [定員] **20名(先着順)**
事前にメールで氏名と連絡先をお知らせください。
- [申込み] **MAIL tabunkabito@gmail.com** (当日参加も可)



特定非営利活動法人 多文化協働ネットワーク

外国人市民をはじめとする多様な文化背景をもつ人たちが出会い、集い、自ら表現できる“多文化空間”を創造することを通して、誰もが暮らしやすい多文化共生社会の実現をめざし活動しています。